

2025 年 8 月 22 日
株式会社みずほフィナンシャルグループ

**第 9 回アフリカ開発会議（TICAD 9）に参加した
アフリカ諸国の機関/アフリカ諸国にビジネス展開をする企業
との業務協力覚書の締結について**

株式会社みずほフィナンシャルグループ傘下の株式会社みずほ銀行（頭取：加藤 勝彦、以下「みずほ銀行」）と、みずほ証券株式会社の在英子会社である Mizuho International plc（President & CEO：Suneel Bakhshi、以下「MHI」）は、第 9 回アフリカ開発会議（TICAD 9）※開催に合わせ、それぞれ以下の機関/企業との間で業務協力覚書を締結しました。

※TICAD は「Tokyo International Conference on African Development」の略であり、アフリカの開発をテーマとする国際会議です。1993 年以降、日本政府が主導し、国連等と共同で開催しています。

	締結日	締結者		内容
		先方機関/企業 （国・地域）	当方	
1	8 月 19 日	アンゴラ共和国財務省 （アンゴラ共和国）	みずほ銀行 MHI	資金調達多様化・ECA ファイナンス等の分野での協働
2	8 月 19 日	スタンダードバンク （南アフリカ共和国）	みずほ銀行	日系企業の南アフリカへの投資促進に関する協働
3	8 月 20 日	ナミビアグリーン水素プログラム （ナミビア共和国）	みずほ銀行 MHI	サステナビリティ/ESG 分野におけるナミビア投資促進に関する協働
4	8 月 20 日	西アフリカ開発銀行 （西アフリカ地域）	みずほ銀行 MHI	資金調達多様化・トレードファイナンス・プロジェクトファイナンス等の分野での協働
5	8 月 21 日	つばめ BHB （日本）	みずほ銀行	グリーン水素・アンモニアのアフリカ経済への活用に関する協働

各業務協力覚書の詳細は、別紙をご参照下さい。

これまで〈みずほ〉は、南アフリカ共和国のみずほ銀行ヨハネスブルク出張所、在

ロンドンの MHI、在ドバイのみずほ銀行中東・アフリカ営業部と MHI ドバイ支店などが協働して、お客さまのアフリカ進出やアフリカでの金融取引のサポートを行ってきました。

今般の覚書は、お客さまに提供するさらなるサービスの充実と、アフリカでのネットワークの拡充を目的に締結したものです。

〈みずほ〉は今後も、グループの総合力を最大限に活用して、アフリカへの新規進出や事業拡大を検討するお客さまをきめ細かくサポートするとともに、アフリカの経済発展にも貢献していきます。

以 上

1. アンゴラ共和国との業務協力覚書の締結について

- 8月19日、みずほ銀行とMHIは、アンゴラ共和国 (Republic of Angola) との間で、資金調達多様化・ECA ファイナンス等の分野での協働に関する業務協力覚書を締結しました。
- サブサハラアフリカ地域で第3位の経済規模を誇り、同地域で第2位の石油生産国である同国は現在、石油への依存を減らすべく経済の多様化に積極的に取り組んでおり、調達先国と市場の多様化を通じた持続可能な資金調達が喫緊の課題です。
- 本業務協力覚書締結により、〈みずほ〉は、日系企業を中心としたお客さまへの支援体制の充実を図ることに加え、同国の安定した成長の実現に貢献していきます。

2. スタンダードバンクとの業務協力覚書の締結について

- 8月19日、みずほ銀行は、スタンダードバンク (The Standard Bank of South Africa Limited、以下「SBSA」、Chief Executive: Lungisa Fuzile) との間で、南アフリカにおけるインフラプロジェクト等に関する業務協力覚書を締結しました。
- 2012年2月、みずほ銀行はSBSA との間で、現地通貨の決済業務、現地通貨建てローン、トレードファイナンス、プロジェクトファイナンス等の金融サービスの強化を目的に、銀行業務を中心とした幅広い分野での業務協力覚書を締結し、2016年8月に業務協力の範囲を非日系企業まで拡大しています。また、2019年8月には、南アフリカでのビジネスを検討する日系企業に対し、よりスピーディーな金融サービスを提供するべく、同行へのジャパンデスクを設置しました。その後、2022年8月には、ESG/サステナビリティ分野に係る業務協力覚書を締結しました。
- 今後、南アフリカにおける日系企業の投資促進、スタンダードバンク内の日系カバレッジの東アフリカへの拡大、アフリカ・中東連携に関する協働を加えることで、情報提供、ソーシング、ファイナンス等、みずほ銀行のお客さまに対する同分野のサービス体制の拡充を図ります。

- スタンダードバンクグループは、1862 年に設立された、グループ全体の総資産約 1,906 億米ドル、従業員数約 50,000 人を抱えるアフリカ最大の民間銀行※1です。アフリカ 20 カ国に拠点網を展開し、幅広い金融サービスを提供しています。SBSA はスタンダードバンクグループの 100%子会社で、南アフリカ最大の銀行です。

※1 2024 年 12 月末時点

3. ナミビアグリーン水素プログラムとの業務協力覚書の締結について

- 8 月 20 日、みずほ銀行と MHI は、ナミビアグリーン水素プログラム（Namibia Green Hydrogen Programme、以下「NGH2P」、Head: James Mnyupe）との間で、サステナビリティ/ESG 分野におけるナミビア投資促進に関する業務協力覚書を締結しました。
- 本覚書締結により、情報の相互提供、市場調査の協力、日本企業との交流促進を図ります。
- NGH2P は、ナミビアで大規模かつ低コストの再生可能エネルギー開発を実現し、再生可能エネルギー投資とグリーン・アンモニア生産において財政収入と地域開発を持続的に最大化するモデルを設計することを目的に設立された政府機関です。

4. 西アフリカ開発銀行との業務協力覚書の締結について

- 8 月 20 日、みずほ銀行と MHI は、西アフリカ開発銀行（Banque Ouest Africaine de Développement、以下「BOAD」、President: Serge Ekue）との間で、資金調達多様化・トレードファイナンス・プロジェクトファイナンス等の分野での協働に関する業務協力覚書を締結しました。
- 本覚書締結により、BOAD の資金調達多様化に向けた協働や、トレードファイナンス・プロジェクトファイナンス等の金融サービスの強化を図ります。
- BOAD は、西アフリカ経済通貨同盟の加盟国（コートジボワール共和国、ベナン共和国、セネガル共和国、ニジェール共和国、トーゴ共和国、ブルキナファソ、マリ共和国、ギニアビサウ共和国）によって 1973 年に設立された地域開発金融機関です（本部はトーゴ共和国）。BOAD は加盟国のバランスの取れた発展を促進し、西アフリカの経済統合を達成することを目的とした機関です。

ともに挑む。ともに実る。

MIZUHO

5. つばめ BHB 株式会社との業務協力覚書の締結について

- 8 月 21 日、みずほ銀行は、つばめ BHB 株式会社（以下「つばめ BHB」、代表取締役 CEO：中村 公治）との間で、グリーン水素・アンモニアのアフリカ経済への活用に関する業務協力覚書を締結しました。
- 本覚書締結により、みずほ銀行のネットワークを活用した、つばめ BHB の技術のアフリカ各国における事業化やアフリカ地域の関係機関および金融機関との連携強化を図ります。
- つばめ BHB は、東京工業大学（現：東京科学大学）発のスタートアップ企業であり、低環境負荷なアンモニア合成触媒・プロセスの開発に強みを持っています。現在、ブラジルにおいて、同社はプラントで合成したグリーンアンモニアから肥料を製造するプロジェクトを推進中です。

以 上